

神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第069号(通算)

令和4年9月16日(金)発行

体育祭も終わり、少しずつ秋の気配を感じるようになってきました。3年生は、進路決定の重要な試練の時を迎え、ここが正念場です。諦めずに努力して下さい。また、1・2年生も、学校内外の行事は、自分たちが中心となって活動し、力量を試されることになります。一つ一つの行事に対して準備を怠らず、持てる力を存分に発揮できるように頑張ってください。

9月のいろ #にっぽんのいろ

葡萄色
えびいろ



葡萄色(えびいろ)

古くから高貴な色とされてきた濃い紫色で、古来、ブドウは「葡萄(えび)」と呼ばれており、この色は「葡萄葛(えびかずら)」と呼ばれていた山ブドウに由来します。秋とともに深まる山ブドウの豊潤な色合いが表現されています。

茜色
あかねいろ



茜色(あかねいろ)

名前の由来は、山野に自生する蔓草(つるくさ)の茜(あかね)の根を染料としたことから。鮮明な赤を抽出するのは至難の業だったため、桃山時代、江戸時代には蘇芳(すおう)や紅花で染められました。その色は、まるで太陽に染まった赤富士のようです。

体育祭の様子1



体育祭の様子2



突然QUIZ(クイズ)第五弾

解答編

①梅檀の実 ②銀杏の実 ③楠木の実

①センダン ②イチョウ ③クスノキ

漢字だとなかなか難しいものですね。

① 梅檀(センダン)の木



② 銀杏(イチョウ)の木



③ 楠木(クスノキ)



この楠木は、元駐英大使だった旧制川辺中学校卒の西晴彦氏が昭和58年に90歳を記念して来校されたとき、ご自身で植樹されました。

植樹当時の写真→



↑ 校史資料室には、先生の胸像があります。



他にも←ソフトボール場横の藪椿(ヤブツバキ)と→テニスコート横のプラタナス(紅葉葉鈴懸)にも実が付いていました。自然が豊かです!!